

十三小学校研究推進便り

6月29日(月)、6時限目 第1回の研究授業。

6年 人物と人物の関係を考え、話の続きを考えよう

「風切るつばさ」

植村優子 学級

<研究授業参観に当たって>

今年初めての研究授業です。本年度からスタートした「子どもの読む力を育てる指導法の工夫 ～読みの観点の習得・活用を通して～」を追及するため、みんなで視点に沿って考えていきたいと思えます。今回は、人物関係図を使って人物同士の関係をとらえ、その後のお話を考えていくという内容です。子ども達の「読む」力を育てるために有効であったかどうか確かめてください。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

「読みの観点」の習得・活用、交流の場の工夫

- ① 人物関係図を用いることで、読みが深まったか。(評価基準の達成度を含めて)
- ② 交流の場は、有効であったか。

単元構成の工夫(単元を貫く言語活動)

- ① 目標に迫るための活動として、適切であったか。

言語力・表現力を高める工夫

- ① 関連図書が生かされているか。
- ② 掲示物は適切か。

<植村先生のつぶやき>

このお話は、思春期の入り口に立つ子ども達にとっても気になる内容のお話です。人物関係図を使って、クルルとカララの関係をとらえていきます。また、単元全体を通してペア交流やグループ交流も行っていく予定です。友だち同士で交流した内容を共有し、「へえ～、〇〇さんの意見って私と違っておもしろいな」「そんな考え方もあるのか…」などに気づいてくれることが理想ですが、…

第Ⅲ次で子ども達がどんな場面のどんな内容のお話を作っていくのか楽しみです。

<授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果(ピンク)」「課題(黄)」「改善策(青)」に記入してください。

今回は、3班(1グループ4～5人)に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。